

二十四節気によると、この時季は「芒種（ぼうしゅ）」にあたり、穀物の種まきをする季節で実は「夏」。連日の猛暑で梅雨を通り越して、やはり夏なのかと実感する日々です。今年度が始まり早2ヶ月が過ぎました。各学科では特色ある教育活動が繰り広げられています。



先日は、起業家育成プログラムの一環で本校の同窓会長である、佐藤製作所代表取締役社長の飯野 英城様に3年生の商業科を対象に「ビジネスマネジメント」の授業で貴重なお話をさせていただきました。

「はじめに、人。人のために企業がある。」「品質は無言の営業」「先取り精神で臨む」「後工程の方にいい製品を送る」など一つひとつの言葉には、これまで経営者として培ってこられた成功のための教えがあり、最後には皆に平等に与えられている「時間」を有効に使うことの大切さも伝えていただきました。

1年生商業科「ビジネス基礎」の授業では、スタートアップポップコーン代表取締役 CEO の澤田 聖士様に講義をしていただきました。ご自身の紆余曲折の人生を振り返る中で「人生の様々なポイント（点）には必ず意味がある」とピンチをチャンスにプラス思考で切り替えていく逞しさに感服し、人生は「働く＝生きる」ことであるからこそ、高校時代からビジネスについて学ぶことに大きな価値があり、「高校生の中にビジネスを好きになることを願っている」と激励いただきました。そして、学ぶだけではなく、やってみることが何より大事であること。本校の商業科では、マーケティングやビジネスマネジメントなどの理論と実践を積み重ねていくことができる3年間のプログラムがあります。これは、筑豊高校だからこそできる貴重な教育だと改めて実感しています。

6月5日の古町商店街『のおがた五日市』では、3年生「課題研究」販売実習班が野菜や五日市うどんの販売を行い地域の活性化に貢献してくれていました。



また、明治屋産業株式会社「びっくり市」では、1年生がクラス毎に販売実習に取り組ませていただいています。さまざまな地域の方々との関わりの中でも、育てていただいている筑豊高校生です。

